

社会福祉法人 もくば会 ビートル (生活介護事業所)

利用者・職員がともに居心地良く 地域にも開かれた施設が完成

東京都八王子市の生活介護事業所「ビートル」は、社会福祉法人もくば会が同市で運営する14番目の施設として2022年5月に開所。重度障がい者など約20名を受け入れ、食事や入浴、排せつの支援に加え、創作・生産活動の場も提供する。もくば会は2003年に法人化。生活介護や共同生活援助など、多様な事業を行っている。理事長の小玉 広輝氏は、「サービスメニューがたくさんあり、障がい者が選択できることが大切。親亡き後も自分で生活を確立するための支援をしたい」と述べる。建物は大開口のガラス窓を多用した開放感のある造り。天井を張らずに、木製の柱梁を現しにするなど、居心地の良さを追求するとともに、広い作業空間や地域のニーズに応える機械浴※を含む2つの浴室も設置。職員のサービス提供時の負担軽減にもつなげた。設計した加藤 陽介氏（建築家／株式会社楓設計室代表取締役）は、「地域に開かれた施設に、との法人の思いを反映、職員の創意工夫も取り入れて設計を進めた。災害時、地域の障がい者の受け入れも想定し、高度の耐震基準で建設。皆が安心して利用できる建物になった」と語る。今後、併設したカフェをオープン予定。誰もが気軽に立ち寄れる地域交流拠点として、開かれた福祉施設をめざす。

※自力での入浴が困難な方への入浴をサポートする機器を備えた浴室。ストレッチャー浴、チェアー浴などがある。



©株式会社楓設計室

所在地／東京都八王子市檜原町
事業主／社会福祉法人もくば会
設計／株式会社楓設計室
施工／三友リフォームテクノ株式会社
竣工／2022年4月
建築工法／木造(軸組)：建築面積537.7m²

ウェブサイトでも
ご覧いただけます



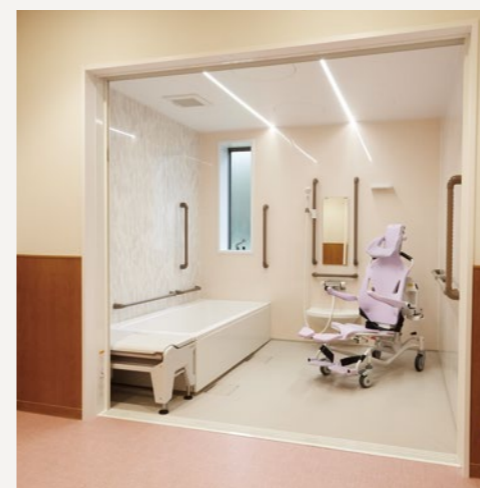
大開口の窓や現しの小屋組を採用し、広々として快適な空間となった生活介護活動室。車いすで使いやすい「アクアハート洗面」(左)も設置



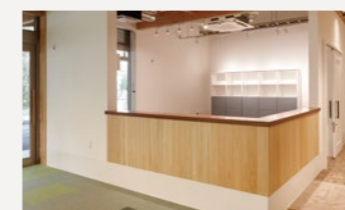
地域のかたが気軽に利用できるカフェスペース



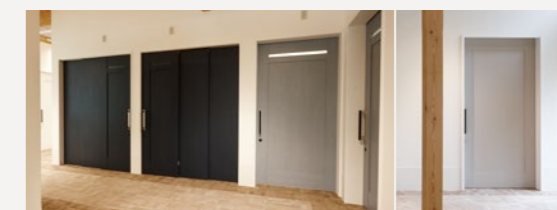
重度化対応が可能な特浴用ユニットバスに機械浴を配置。浴室内の段差0mm(高低差3mm)でキャリーなどの移動もスムーズ



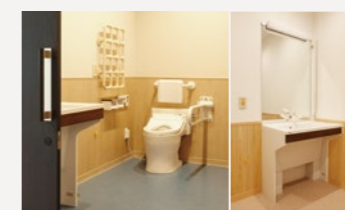
「アクアハート a-Uシリーズ」の浴槽は、またぎやすい高さ・フチのつかみやすさに配慮。Wスピード排水で介助効率も向上



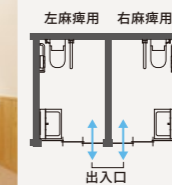
開放感のある職員スペースには、個人情報を守る鍵付き扉の「キュビオス」を採用



車いす用トイレの扉は「ベリティス」のネイビーオーク柄(左2カ所)。職員と一緒にいる相談室などは色柄を変え、視認性をあげている



左麻痺、右麻痺の利用者に配慮し、トイレや「アクアハート洗面」の配置を工夫した車いす用トイレ



主な納入設備

- インテリア建材「ベリティス」
- システムファニチャー「キュビオス」
- 高齢者施設向けユニットバス「アクアハート」
- 「アクアハート洗面」 ● トイレ「アラウーノ」[®]
- システムキッチン「ラクシーナ」
- 屋根材「グランネクスト シンプル」(ケイミュー株式会社製)

※職員用に採用